

第2章 日本青年海外派遣

第1節 オーストリア・リトアニア派遣

行動地図
行動記録
訪問先一覧
団長報告
参加青年代表報告
ディスカッション成果



行動地図 令和元年度 オーストリア・リトアニア派遣



行動記録 令和元年度 オーストリア・リトアニア派遣

	月日	時間	行動日程	都市
1	9月18日 (水)	9:50 13:50 16:20 17:35 19:30	成田空港発 (AY072)) ヘルシンキ着 ヘルシンキ発 (AY1105) ビリニュス着 夕食	東京 ↓ ビリニュス
2	9月19日 (木)	9:15 11:30 11:50 13:15 13:45 15:30 15:50 17:30 18:10 18:20	リトアニア議会訪問 ・ピクトラス・フランキエティス リトアニア議会議長表敬訪問 昼食 在リトアニア日本国大使館訪問 ・山崎史郎特命全権大使表敬訪問 欧州委員会リトアニア代表部訪問 ・Arnoldas Prankevičius 欧州委員会リトアニア代表部代表表敬訪問 夕食	
3	9月20日 (金)	9:30 10:25 10:50 11:10 12:00 13:00 13:15 15:00 15:15 17:10 18:10 19:50	ユーロデスク訪問 ビリニュス大聖堂見学 昼食 KGB博物館訪問 リトアニア国立図書館訪問 ・ミッション・シベリアのメンバーによる活動紹介 夕食 リトアニア青年協議会訪問	
4	9月21日 (土)	9:30 13:30 13:30 14:30 14:30 15:40 20:00 21:30	ディスカッション参加青年たちとの昼食 NGOバルティック・アジアによる活動内容紹介 夕食	↓ クライペダ
5	9月22日 (日)	10:00 12:30 12:45 13:45 15:00 15:45 15:45 17:45 18:00 21:10	クライペダ市内ガイドツアー 昼食 リトアニア・シー・ミュージアム訪問 ビーチ散策 クライペダ市青少年評議会による活動内容紹介及び夕食	
6	9月23日 (月)	10:45 12:30 12:45 13:40 13:50 14:30 15:20 22:30	リトアニア赤十字移住者情報センター訪問 昼食 ピタウタス・グルブリヤウスカス クライペダ市長表敬訪問 自主学習及び夕食	↓
7	9月24日 (火)	11:30 14:00 14:00 14:30 14:50 17:50 18:00 19:50 20:00 20:30	杉原記念館訪問 昼食 カウナス市内ガイドツアー カウナス多様な国の文化センター訪問 夕食	カウナス ↓
8	9月25日 (水)	9:50 12:00 12:00 13:00 13:15 14:50 14:50 18:15 18:15 22:00	ユネスコ・リトアニア国家委員会訪問 昼食 リトアニア大統領府市民教育センター訪問 自主学習 歓送会	ビリニュス ↓
9	9月26日 (木)	14:20 15:30 17:10 18:30 20:15 21:45	ビリニュス発 (AY1108) ヘルシンキ着 ヘルシンキ発 (AY1475) ウィーン着 夕食	↓ ウィーン

	月日	時間	行動日程	都市
10	9月27日 (金)	7:40 8:00 8:30 9:10 9:10 10:45 10:45 12:10 13:00 13:30	歓迎オリエンテーション オーストリア連邦首相府訪問 ・イネス・シュティリング女性・家族・青年大臣表敬訪問 市内視察 在オーストリア日本国大使館表敬訪問 ・小井沼紀芳特命全権大使 昼食 ホストファミリーと対面	
11	9月28日 (土)	終日	ホームステイ	
12	9月29日 (日)	17:00 17:00 22:00	ホームステイ ホテル集合 自主学習及び夕食	
13	9月30日 (月)	8:55 12:30 13:15 14:00 15:20 17:00 19:30 22:30	オーストリア連邦首相府訪問 ・多文化共生ワークショップ 昼食 ビーバー社訪問 夕食	↓
14	10月1日 (火)	12:00 13:15 13:15 14:00 14:00 17:20 20:00 22:00	マウトハウゼン強制収容所訪問 昼食 施設見学 自主学習及び夕食	オーバーエスターライヒ州 ウィーン
15	10月2日 (水)	9:40 13:00 13:20 14:50 15:30 16:30 16:50 17:50 20:00 22:20	ウィーン通り全日制小学校訪問 昼食 国際連合ウィーン事務局訪問 在ウィーン国際機関日本政府代表部訪問 夕食	↓
16	10月3日 (木)	10:10 11:40 12:10 13:10 13:10 22:00	ウィーン国立音楽大学訪問 昼食 自主学習及び夕食	
17	10月4日 (金)	11:15 14:40 16:45	ウィーン発(AY1472) ヘルシンキ着 ヘルシンキ発(AY071)	
18	10月5日 (土)	8:05	成田空港着	東京

Itinerary in Austria and Lithuania 2019

	Date	Time	Activities	Place to Stay
1	Sep. 18 (Wed)	9:50 13:50 16:20 17:35 19:30	Departure from Tokyo (Narita) (AY072) Arrival in Helsinki Departure from Helsinki (i AY1105) Arrival in Vilnius Dinner	Tokyo ↓ Vilnius
2	Sep. 19 (Thu)	9:15 11:30 11:50 13:15 13:45 15:30 15:50 17:30 18:10 18:20	Visit to Parliament of the Republic of Lithuania • Courtesy call on Mr. Viktoras Pranckietis, Speaker of the Seimas Lunch Visit to Embassy of Japan in Lithuania • Courtesy call on Mr. Shiro Yamasaki, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary Visit to European Commission Representation in Lithuania • Arnoldas Prankevičius, European Commission Head of Representation in Lithuania Dinner	
3	Sep. 20 (Fri)	9:30 10:25 10:50 11:10 12:00 13:00 13:15 15:00 15:15 17:10 18:10 19:50	Visit to Eurodesk Visit to Vilnius Cathedral Lunch Visit to Museum of Occupation and Freedom Fights Visit to Martynas Mažvydas National Library of Lithuania • Lecture on activities by Mission Siberia members Dinner	
4	Sep. 21 (Sat)	9:30 13:30 13:30 14:30 14:30 15:40 20:00 21:30	Visit to Lithuanian Youth Council Lunch with Discussion participants Lecture by NGO Asian information and services agency, Baltic Asia Dinner	↓ Klaipėda
5	Sep. 22 (Sun)	10:00 12:30 12:45 13:45 15:00 15:45 15:45 17:45 18:00 21:10	Guided tour in Klaipėda city Lunch Visit to Lithuanian Sea Museum Stroll along a beach Lecture on activities by Klaipėda Municipality and Youth Affairs Council (including dinner)	
6	Sep. 23 (Mon)	10:45 12:30 12:45 13:40 13:50 14:30 15:20 22:30	Visit to Red Cross Infocentre for Migrants Lunch Courtesy call on Vytautas Grubliauskas, Mayor of Klaipėda city Individual study (including dinner)	↓
7	Sep. 24 (Tue)	11:30 14:00 14:00 14:30 14:50 17:50 18:00 19:50 20:00 20:30	Visit to Sugihara House Lunch Guided tour in Kaunas city by Lithuania participant Visit to Kaunas Cultural Centre of Various Nations Dinner	Kaunas ↓
8	Sep. 25 (Wed)	9:50 12:00 12:00 13:00 13:15 14:50 14:50 18:15 18:15 22:00	Visit to Lithuanian National Commission for UNESCO Lunch Visit to Office of the President of the Republic of Lithuania Center for Civil Education Individual study Farewell dinner	Vilnius

	Date	Time	Activities	Place to Stay
9	Sep. 26 (Thu)	14:20 15:30 17:10 18:30 20:15 21:45	Departure from Vilnius (sAY1108) Arrival in Helsinki Departure from Helsinki (iAY1475) Arrival in Vienna Dinner	Vienna
10	Sep. 27 (Fri)	7:40 8:00 8:30 9:10 9:10 10:45 10:45 12:10 13:00 13:30	Welcome Orientation Visit to Federal Chancellery of Austria • Courtesy call on Ms. Ines Stilling, Federal Minister for Women, Families and Youth Inner city walk Visit to Embassy of Japan in Austria • Courtesy call on Mr. Kiyoshi Koinuma, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary Lunch Meet with host family	
11	Sep. 28 (Sat)	All day	Homestay	
12	Sep. 29 (Sun)	17:00 17:00 22:00	Homestay Arrival at hotel Individual study (Including dinner)	
13	Sep. 30 (Mon)	8:55 12:30 13:15 14:00 15:20 17:00 19:30 22:30	Visit to Federal Chancellery of Austria • Workshop on Multicultural Awareness Lunch Visit to BIBER Dinner	
14	Oct. 1 (Tue)	12:00 13:15 13:15 14:00 14:00 17:20 20:00 22:00	Visit to KZ Mauthausen Lunch Facility tour Individual study (Including dinner)	Upper Austria Vienna
15	Oct. 2 (Wed)	9:40 13:00 13:20 14:50 15:30 16:30 16:50 17:50 20:00 22:20	Visit to Ganztagsvolksschule Wehlistraße Lunch Guided tour in United Nations Office at Vienna Visit to Permanent Mission of Japan to the International Organizations in Vienna Dinner	
16	Oct. 3 (Thu)	10:10 11:40 12:10 13:10 13:10 22:00	Visit to University of Music and Performing Arts Vienna Lunch Individual study (Including dinner)	
17	Oct. 4 (Fri)	11:15 14:40 16:45	Departure from Vienna (AY1472) Arrival in Helsinki Departure from Helsinki (iAY071)	
18	Oct. 5 (Sat)	8:05	Arrival in Tokyo (Narita)	Tokyo

訪問先一覧 令和元年度 オーストリア・リトアニア派遣

9月19日

リトアニア議会 (Parliament of the Republic of Lithuania)

訪問先都市	ビリニュス
面会者	Viktoras Pranckietis, Speaker of the Seimas Mindaugas Puidokas, Member of Parliament of the Republic of Lithuania 安仁屋賢 在リトアニア日本国大使館参事官 Monik Kutkaitytė, Advisor of press office 在リトアニア日本国大使館派遣員
コメント	リトアニア議会を表敬訪問した。議長との懇談では、団員からリトアニアの独立について等の質問をしたほか、リトアニア・日本議員連盟の代表議員より日本との関係についての説明を受けた。討議中の議会の様子も見学したが、日本の議会と比べて女性の比率が高く、自由な雰囲気での議論が行われていたことが印象的であった。

在リトアニア日本国大使館 (Embassy of Japan in Lithuania)

訪問先都市	ビリニュス
面会者	山崎史郎 在リトアニア日本国大使館特命全権大使 森本朋花 在リトアニア日本国大使館二等書記官 谷田匠 在リトアニア日本国大使館派遣員
コメント	在リトアニア日本大使館を表敬訪問し、山崎大使から歓迎と激励を受けた。あわせて、リトアニアの歴史と現状についての説明を受けた。団員から多くの質問が出たが、それぞれに丁寧な回答を得て理解を深めることができた。大使からは、リトアニアを知るためには、歴史と日本とは異なる地理的要因を学ぶことが重要であるとのアドバイスをいただいた。

欧州委員会リトアニア代表部 (European Commission Representation in Lithuania)

訪問先都市	ビリニュス
面会者	Arnoldas Prankevičius, European Commission Head of Representation in Lithuania
コメント	欧州委員会リトアニア代表部を表敬訪問し、代表よりEUの歴史、課題、今後の展望などについて説明を受けた。リトアニアは2004年にEUに加盟したが、国民のEUに対する信頼度は全加盟国の中で最も高いという説明は印象的であった。団員からは教育や多様性などについて幅広く質問をしたが、丁寧に答えをいただいた。

9月20日

ユーロデスク (Eurodesk)

訪問先都市	ビリニュス
面会者	Editor of Eurodesk Lithuania
コメント	若者とその関係者に国内およびヨーロッパ各国の情報を提供することを目的として1990年に設立された国際的非営利団体であるユーロデスクを訪問した。スタッフから団体の理念、活動実績の説明を受け、団員からは具体的な活動内容や運営手法についての質問が多く出された。EU内の自由な学習機会の拡大を図るユーロデスクの活動は直接に日本で応用できるものではないが、日本の類似団体が規模と利用者の拡大を図るための参考事例として大いに役立つと感じた。

KGB博物館 (Museum of Occupations and Freedom Fights)

訪問先都市 ビリニュス

コメント KGB博物館はかつてKGBとゲシュタポが拠点として使用していた建物を利用した施設である。スタッフからは展示物と当時の収容者たちの置かれた過酷な環境について詳細な説明を受けた。本施設の目的は、悲惨な歴史の詳細を保存し、未来永劫同じ過ちを犯さぬようにすることである。日本にも同様の役割を担うものとして広島と長崎に投下された原子爆弾の悲劇を伝える施設が存在する。ただ単に資料を展示する箱物を残すだけでなく、悲劇の歴史を生きた人々の経験・証を次世代に引き継いでいくことが必要なのではないか。

ミッション・シベリア (Mission Siberia)

訪問先都市 ビリニュス

面会者 Project Participant
Project Participant
Project Participant

コメント ミッション・シベリアは2004年に活動を開始した、旧ソ連領内に拘留、埋葬されたリトアニア人の墓所を探し当て、再整備することを目的とする民間組織である。活動に参加した同世代のメンバーからカザフスタンでの活動の様子を聞き、活動の理念やメンバー個人に与えた影響についても教えていただいた。自分に直接関係する人物の墓所が対象になっているわけでもないにも関わらず積極的に活動しようという背景には、他国との関係性を深く考え、国際的な視野でどう立ち振る舞うかを主体的に考えざるを得ない環境が影響しているのではないか。

9月21日

リトアニア青年協議会 (Lithuanian Youth Council)

訪問先都市 ビリニュス

面会者 Lecture / Vilnius University
Vice president / Lithuanian Youth Council
Board member / Lithuanian Youth Council
Member / region council 他6名

コメント リトアニアから日本に派遣される青年ら9名とのディスカッションを行った。リトアニア大学のアジア文化研究所に関する説明と、最年少市議会議員によるリトアニアにおける若者の社会参画についての説明を受けた後、若者の社会参画に関する両国の違いについて話し合った。話し合いを通じて感じたことは、教育現場における主権者意識の醸成に大きな違いがあるということだ。リトアニアでは Student Council (1 学生自治会) の権限が大きく、市議会の決定にも影響を与えていることが感じられた。日本では、経験や知識が不足していることに起因する失敗に寛容である一方で、失敗の予防線として「子どもには難しい」という雰囲気を持っているように感じる。若者のエンパワメントのために、社会の構えはどのようなものであるべきなのか、若者自身がどう身構えればよいのかを考える上で、エストニアの姿は大いに参考になった。

NGO パルティック・アジア (NGO Asian information and services agency, Baltic Asia)

訪問先都市 ビリニュス

面会者
CEO
Co-founder
Energy expert

コメント
パルティック・アジアは、リトアニアと日本の民間ベースでの交流促進を目的として情報発信やコンサルティングを行うNGOである。その活動概要を聞いた他、2013年に日本に派遣されたリトアニア青年からリトアニアと日本のビジネス分野での交流について説明を受けた。具体的には、持続可能な開発を進展させるために必要なエネルギー分野における技術開発と資源の調達において、更なる密接なパートナーシップが求められているということであった。

9月22日

クライペダ市内ガイドツアー (Guided tour in Klaipėda City)

訪問先都市 クライペダ

コメント
クライペダ市はリトアニア国内唯一の港湾都市である。市庁舎、城跡等を巡った後に、クライペダのシンボルである港を見学した。特に印象に残ったのは、市内に点在するさまざまなモニュメントやオブジェである。奇抜なデザインが街並みの中に自然と溶け込んでおり、市民の芸術に対する関心の高さも伺うことができた。

リトアニア・シー・ミュージアム (Lithuanian Sea Museum)

訪問先都市 クライペダ

コメント
国内唯一の水族館であるリトアニア・シー・ミュージアムを訪れ、施設ボランティアの活動について説明を受けた。学生ボランティアは、将来水族館で働きたいといったわけではなく、地球環境や生物多様性に関心があるために活動に参加しているとのことだった。日本ではこのような施設ボランティアでの人材不足や高齢化が指摘されることが多いが、彼らのような課題意識に基づくボランティア活動が活発であれば、こうした社会活動もより持続可能なものになるのではないかと。

クライペダ市青少年評議会 (Klaipėda Municipality and Youth Affairs Council)

訪問先都市 クライペダ

面会者
Chairman
Member 他2名

コメント
クライペダ市青少年評議会は、若者のエンパワメントを通じた地域の活性化に取り組む団体である。メンバーと夕食をとりながら活動内容を聞くとともに、クライペダ市の魅力やビジョンについて話し合った。評議会では七つの鍵となるチャレンジを設定し、活動領域を構造化するとともに、それぞれの指標を設定している。その取り組みは成果を生み、市から出される予算も年々増加しているようだ。これは日本の地方都市においても大いに参考になると思うが、若者自身の「自分の街に対する愛着・危機意識・主権者意識」を醸成することが課題になるのではないかと。

9月23日

リトアニア赤十字移住者情報センター (Red Cross Infocentre for Migrants)

訪問先都市	クライペダ
面会者	Social worker Social worker assistant
コメント	リトアニア赤十字移住者情報センターは、移住者に対する相談業務を行う他、無償のリトアニア語教室などのサービスを提供している。リトアニアでは高い賃金を求めて国民が海外に流出する一方で、リトアニアに起源を持つ移民が旧ソ連領より流入している事態に直面している。移民受入の体制は万全とは言えず、センターは移民がスムーズにリトアニア国民として暮らすためのサポートの中核となっている。日本では外国人労働者の一層の受入れが進められている。センターでの活動を知り、彼らが日本に来ることが本当に彼らの幸せにつながるのか、彼らを単に都合のいい労働力として捕らえてはいないか、今一度見直し、徹底して受入れ態勢を整える必要があると感じた。

クライペダ市長表敬訪問 (Courtesy call on Mayor of Klaipėda city)

訪問先都市	クライペダ
面会者	Vytautas Grubliauskas, Mayer
コメント	クライペダ市庁舎にて市長のVytautas Grubliauskas氏を表敬訪問した。市長が特に強調していた言葉は次世代に対する責任であった。青少年評議会への予算を増やしていることや2030年をゴールとする中長期的計画を策定していることから、未来を見据え、若者のエンパワメントにコミットする姿勢が感じられる。質疑応答では、これまでの訪問で得た知識に基づく発展的、建設的な質問が団員から出されていた。まず若者に任せ、その結果を見据えるという、市長のよい意味での挑発的な姿勢に、背中を押されたかのように感じられた。

9月24日

杉原記念館 (Sugihara House)

訪問先都市	カウナス
面会者	Exective Director Coordinator
コメント	杉原記念館は、杉原千畝の功績を後世に伝えるために旧日本領事館を博物館としたものである。当時、領事館代理であった杉原が自身の判断で発行した日本国内通過ビザは1,600通に及び、推計6,000人のユダヤ人の命を救ったと言われている。自身に与えられた規則や命令と眼前の人命の間で杉原は深く悩んだという。戦時という特殊な環境の中で何かを決断することは非常に難しい。現代も不安定、不確実、複雑で曖昧な時代に突入しており、私たちにもより一層大きな視座とより強固な決断力を求められているのではないかと感じた。

カウナス市内ガイドツアー (Guided tour in Kaunas City)

訪問先都市	カウナス
面会者	リトアニア参加青年
コメント	リトアニア第二の都市カウナスの市内のヴィータウタス・マグヌス大学、美術館、モニュメントなどを回った。その中で特に印象に残ったのは市内に点在する奇抜な建築群である。それぞれに個性が強く、一見するとばらばらな印象があるが、カウナスの建築群は巨大なマッス(塊)として存在感を発揮し、調和を生み出していた。

カウナス多様な国の文化センター (Kaunas Cultural Centre of Various Nations)

訪問先都市	カウナス
面会者	Head Manager
コメント	異なる文化的背景を持った人々が社会的活動や文化交流を行う際の拠点として活用されている文化センターを訪問した。この日もユダヤ系住民がイベントの打ち合わせを行っていた。センター長のDaninius Babilas氏からセンターの説明を受けた後、私たちが日本文化の紹介として書道とよさこいを披露した。対象は日本文化に関心を持つ大学生や教員、卒業生などであるが、ユダヤ系やヒンドゥー系などさまざまな文化的背景を持つ方々であった。書道では、その人の名前に漢字をあてて書く「ワケジョップ」をした。名前は全ての人のアイデンティティーにつながるものなので、興味関心をひきつけるために有効であると感じた。

9月25日

ユネスコ・リトアニア国家委員会 (Lithuanian National Commission for UNESCO)

訪問先都市	ビリニュス
面会者	Secretary General Programme Coordinator Culture Programme Coordinator
コメント	ユネスコは第二次世界大戦後に、摩擦や衝突を防ぐための文化多様性に関する活動を進めることを目的に設立された。世界遺産の取り組みは広く知られ、ビリニュスの日市街も1994年に指定されているが、ユネスコがもっとも大きな貢献をする領域は教育である。現在は特に持続可能な開発のための教育に資する活動に力をいれている。ユネスコのような国際的権威を持つ団体が、草の根的活動を結びつける働きをすることの効果は計り知れないものがあると感じた。その代表例がユネスコスクールであり、ユネスコが情報だけでなく連携のプラットフォームを提供することで、効果的な問題解決につながると考えられる。

リトアニア大統領府市民教育センター

(Office of the President of the Republic of Lithuania Center for Civic Education)

訪問先都市	ビリニュス
面会者	Communication Specialist
コメント	リトアニア大統領府内市民教育センターはリトアニア市民、特に若年層が自国の文化と歴史を学ぶために設けられた施設である。公立の文化施設は退屈なものという印象があるが、この施設はプロジェクションマッピングやタブレット端末などのデジタル技術も積極的に導入しており、若年層が刺激を受けながら自国の文化と歴史に触れることができるように工夫されていた。展示内容は定期的に更新されており、本気度を強く感じた。

9月27日

オーストリア連邦首相府 (Federal Chancellery)

訪問先都市	ウィーン
面会者	Federal Minister for Women, Families and Youth
コメント	オーストリア首相府でStilling女性・家族・青年大臣を表敬訪問した。大臣から国内の課題と国の取り組みの状況を聞き、質疑応答に答えていただいた。団員からはジェンダーギャップに関する質問が多く出された。オーストリアは日本と比較するとジェンダーギャップは小さいとされるが、賃金格差など課題は山積しているという。賃金格差は単に男女格差があるということではなく、比較的女性の比率が高い産業分野の賃金が低いことに起因しており、就業機会の不平等に原因がある。ライフステージの変遷に応じた働き方ができるよう、複数の産業分野の諸問題を同時に考え、改善することが重要であると学んだ。

在オーストリア日本国大使館 (Embassy of Japan in Austria)

訪問先都市	ウィーン
面会者	小井沼紀芳 在オーストリア日本国大使館特命全権大使 岩淵系 在オーストリア日本国大使館系二等書記官 / 広報文化センター所長
コメント	在オーストリア日本国大使館を表敬訪問し、小井沼大使から歓迎と激励を受けた。その後、岩淵氏から大使館の日本文化紹介に関する取り組みについて説明をいただいた。質疑応答では、日本文化がどのように捉えられているのか、また文化交流における障害と解決策に関する質問が団員から多く出された。本派遣でも日本文化を伝える機会が多くあり、そこで得た知見は大変役に立つものであった。

9月30日

多文化共生ワークショップ (Workshop on multicultural awareness)

訪問先都市	ウィーン
面会者	IZ/Managing Director IZ/Leader of Austria Delegation 及びオーストリア青年
コメント	自国のアイデンティティと多文化共生に関するワークショップを行った。日本青年3人、オーストリア青年2人でグループをつくり、ディスカッションを中心に互いの価値観に基づいて議論した。アイデンティティや多文化共生の定義については、日本青年とオーストリア青年の間で大きな違いは見られなかったが、オーストリアに対するイメージについては両青年間で大きく異なることが分かった。自国のアイデンティティとは、本人の認識によってのみつくられるのではなく、その国以外の人々のイメージによっても影響を受けることを改めて認識した。

ビーバー社(BIBER)

訪問先都市	ウィーン
面会者	Writer Writer Social media/Campaign Management
コメント	ビーバー社は、オーストリアへの移民が中心となって運営している出版社である。若者をターゲットにしたフリーペーパー「BIBER」を発行している。社員から会社の事業と、それぞれのバックグラウンドについて説明を受けた後、質疑応答の時間をいただいた。ここで最も印象に残ったのはオーストリア人にとって働くことはあくまで人生の一部であるという話であった。日本でも価値観の変化が見られるが、まだまだ何を差し置いても仕事が必要という価値観は根強い。世界が大きく変化する現代において、本当の幸せ、豊かさとは何かを考えると、仕事にのみ主眼を置いた生き方は息苦しさをもたらしてしまうのではないかと考える機会になった。

10月1日

マウトハウゼン強制収容所 (KZ Mauthausen)

訪問先都市	オーバーエスターライヒ州
コメント	マウトハウゼン強制収容所は第2次世界大戦中にナチス・ドイツ指導のもと建てられた強制収容所であり、オーストリアに41か所存在した収容所のうち最大の規模であった。ナチス・ドイツによる被害者のうち、1%がこの収容所で殺害されたと言われている。人々が劣悪な環境で生活を強いられていた空間、身体検査場、処刑場、追悼碑などを見学した。オーストリア人にとって、ナチス・ドイツに併合されたという過去は歴史上の認めがたい汚点として認識されており、この収容所に来るのはほとんどが国外からの観光客なのだそうだ。日本もアジア諸国における歴史認識問題を抱えている。歴史を振り返り、前に進むことの重要性を再認識した。

10月2日

ウィール通り全日制小学校 (Ganztagsschule Wehlstraße)

訪問先都市	ウィーン
面会者	校長
コメント	オーストリアでは午前中で終了する小学校も多いが、この小学校は夕方まである全日制として運営されている。移民や難民などが多く生活するエリアにあるため、児童の言語、信仰、祖国もさまざまである。校長より学校の説明を受けた後、日本文化紹介としてよさこい歌を披露した。その後、複数のクラスに分かれてけん玉や折り紙などを紹介した。参加型の文化紹介を通じて、自国の文化を相手に紹介し、理解を促すには相手を巻き込むことが最も有効であると実感することができた。

国際連合ウィーン事務局 (United Nations Office at Vienna)

訪問先都市	ウィーン
コメント	国際連合ウィーン事務局には、国際原子力機関 (IAEA) 並びに国際連合工業開発機関 (UNIDO) が本部を置く他、国際機関のための会議の運営や広報などを行っており、特に薬物乱用防止や宇宙空間の平和利用に関するプログラムを実施している。ウィーン事務局誘致は国にとって大きなアドバンテージとなると判断し、オーストリア政府は施設の建設費用を全て負担している。国連という存在はあまりに大きく一般市民には無縁であるかのように感じられるが、身近に存在することで大きな誇りとなっている。訪問を通じて、普段は意識することのない国際機関の存在を肌で感じる事ができた。

在ウィーン国際機関日本政府代表部

(Permanent Mission of Japan to the International Organizations in Vienna)

訪問先都市	ウィーン
コメント	在ウィーン国際機関日本政府代表部を訪問し、三谷氏から組織の役割と国際的キャリア形成についてお話を伺った。特に印象に残っているのは、三谷氏が二児の母であるにも関わらず、自分らしく働くことができている点だ。政府機関で働くことが非常にハードであり、家族との時間を十分に取ること、子育てとの両立は難しいというイメージがあったが、苦しいときも職場の仲間が支えてくれたとのことだった。質疑応答でもキャリア形成についての質問が出たが、やはり人のつながりが大切であるとお話であった。自分自身の今後の就職活動においても「人」が大きなキーワードになると感じた。

10月3日

ウィーン国立音楽大学 (University of Music and Performing Arts Vienna)

訪問先都市	ウィーン
面会者	International office staff Event manager
コメント	ウィーン国立音楽大学は、1817年創立、日本を含む世界70か国からの留学生を含む3,000人が学ぶ芸術総合大学である。音楽史、演奏、映画や演劇など24の学部があり、120ものプログラムが提供されている。学内では防音設備を備えたホールやさまざまな楽譜が収められた図書館、地下に設置された音響学の研究室などを見学した。マスタークラスで実際に教授の指導を受ける生徒の様子を間近で見ることができたが、演奏者の息づかい、教授の細かいアドバイスなど、普段ではなかなか見ることができない授業の様子を体験する貴重な機会となった。この大学で学ぶためには、厳しい競争を勝ち抜く必要があり、入学してからも難しい試験をクリアしなくてはならないため、学内では真剣な表情で学問に向き合っている生徒の姿が多く見られた。音楽の都で、世界最高峰の音楽を学ぶ学生生活に触れることができた。